

# 4 徹底的な校務の効率化

職員間

共同編集

会議ペーパーレス

電子掲示板常設

おたより配付

SB/児童クラブ利用

学校評価 面談希望

家庭

職員研修

指導案検討

授業参観 研究協議

ICTミニ情報

保健室利用調査

学校生活アンケート

生徒指導



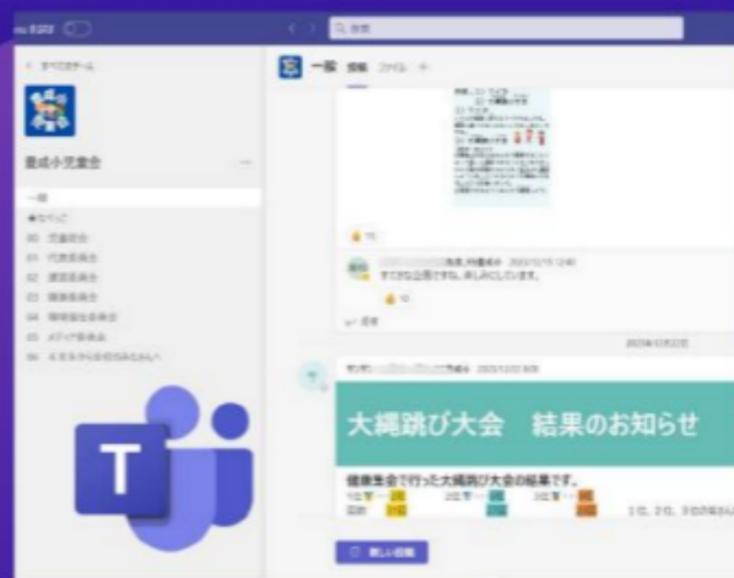
学年専用パスワード配付



# 5 特別活動で

児童会/係活動の活性化

Canva



おわりに

まずやってみる  
精神  
トライアル&エラー

職員・保護者の  
理解

子どもたちの  
わくわく感

「授業」



**Forms**

- ・保健室の来室記録
- ・保健関係（心の健康観察）アンケート
- ・学習の振り返り

**Power Auto...**

- ・出欠席・健康観察一覧表
- ・イベントの申し込み・自動受付

**OneNote**

- ・子供の観察記録
- ・会議記録

**Teams**

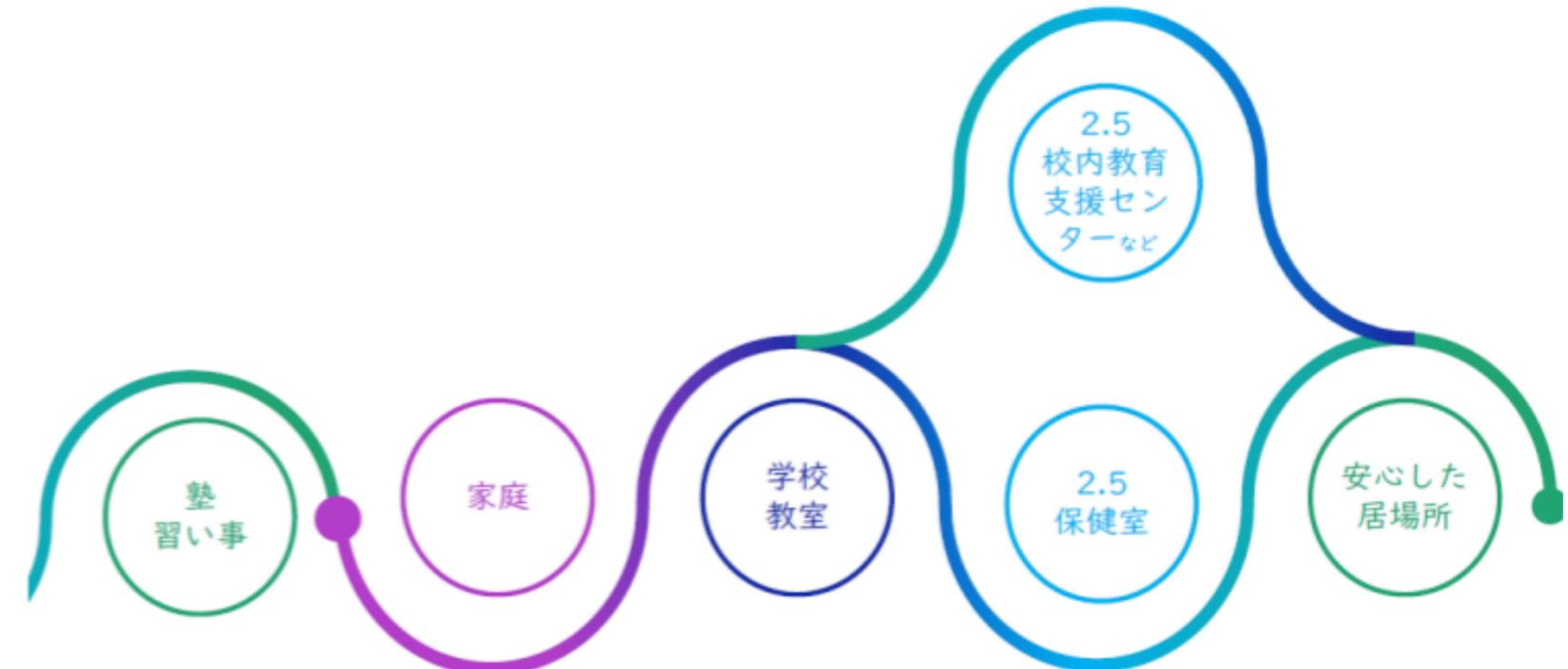
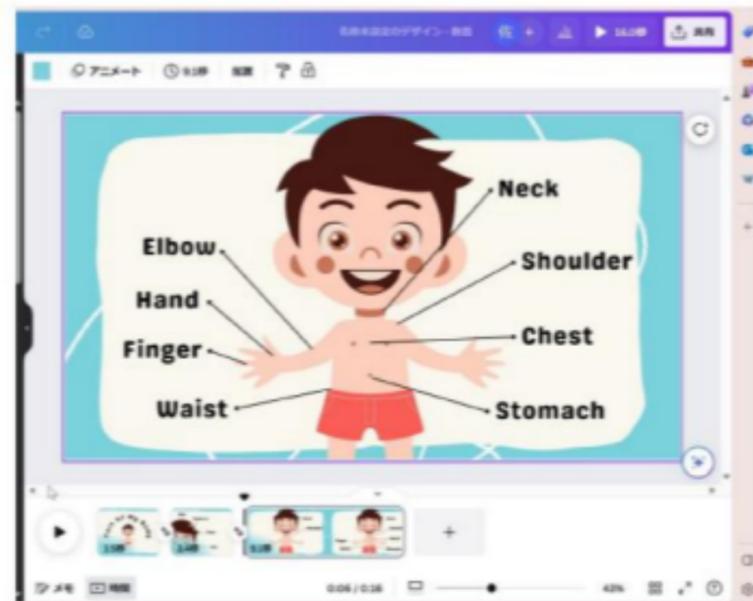
- ・（同期・非同期）情報・記録の共有
- ・ハイブリッドイベント
- ・子供との面談、相談 など

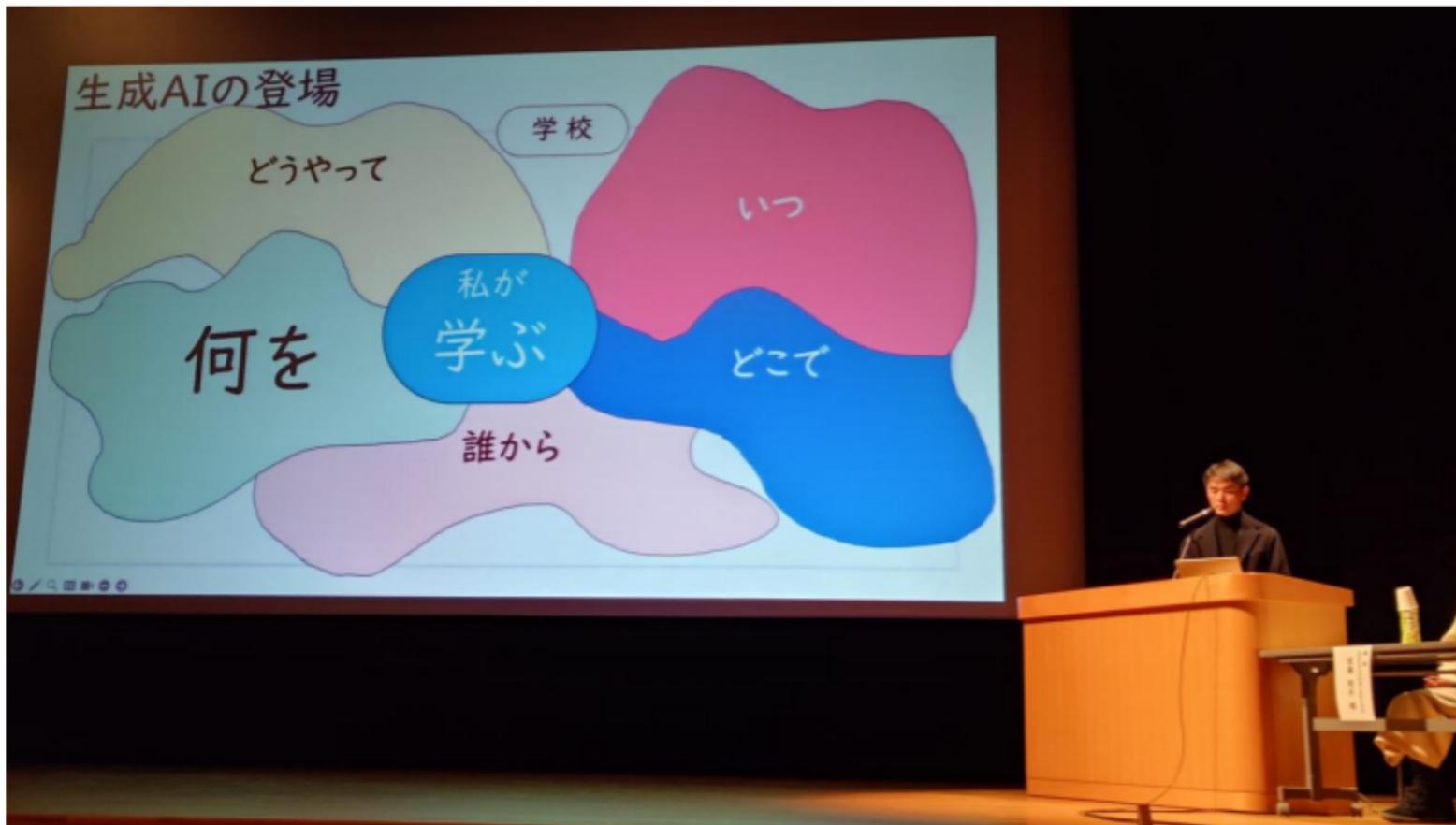
**PowerPoint**

- ・保健指導・授業の資料
- ・保護者イベントの講話資料

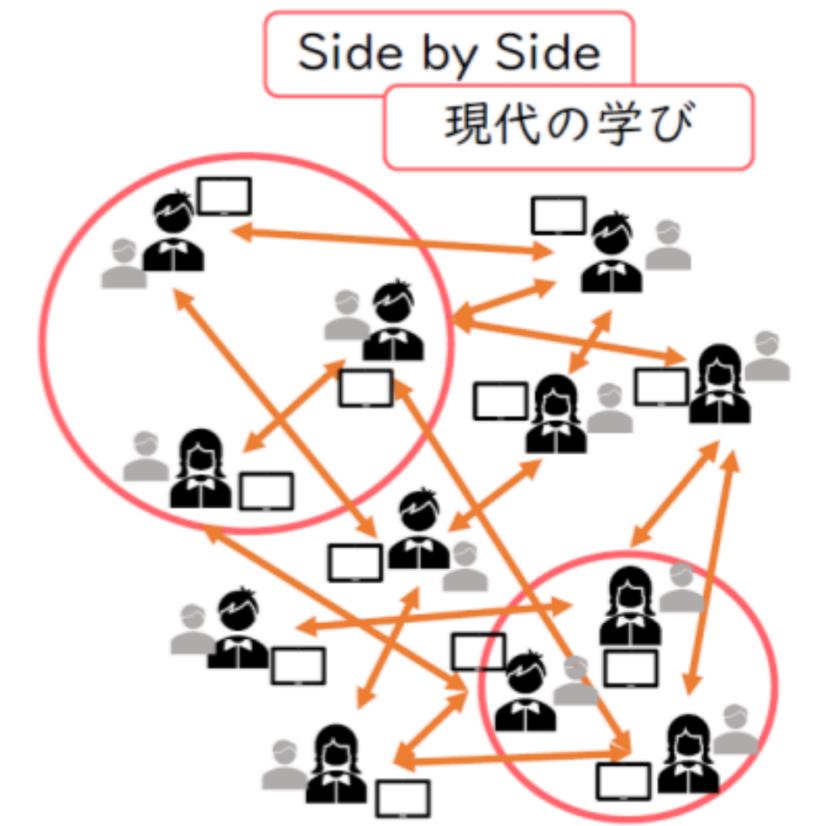
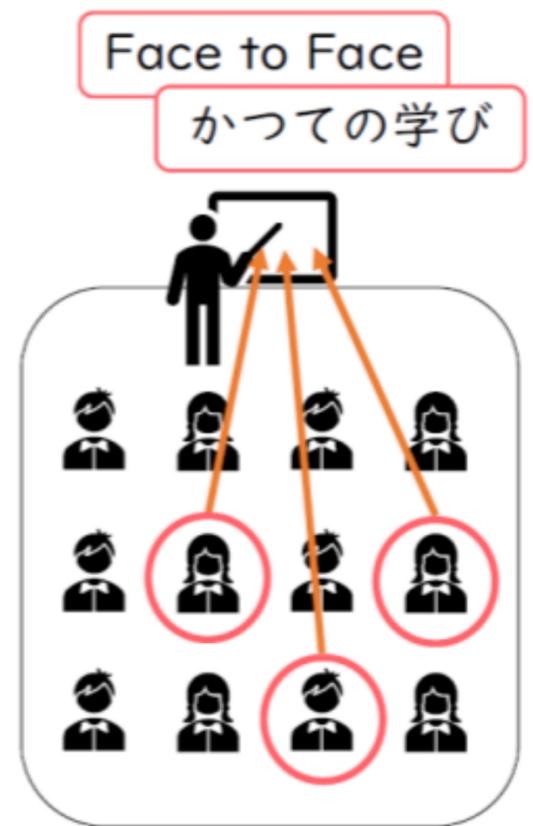
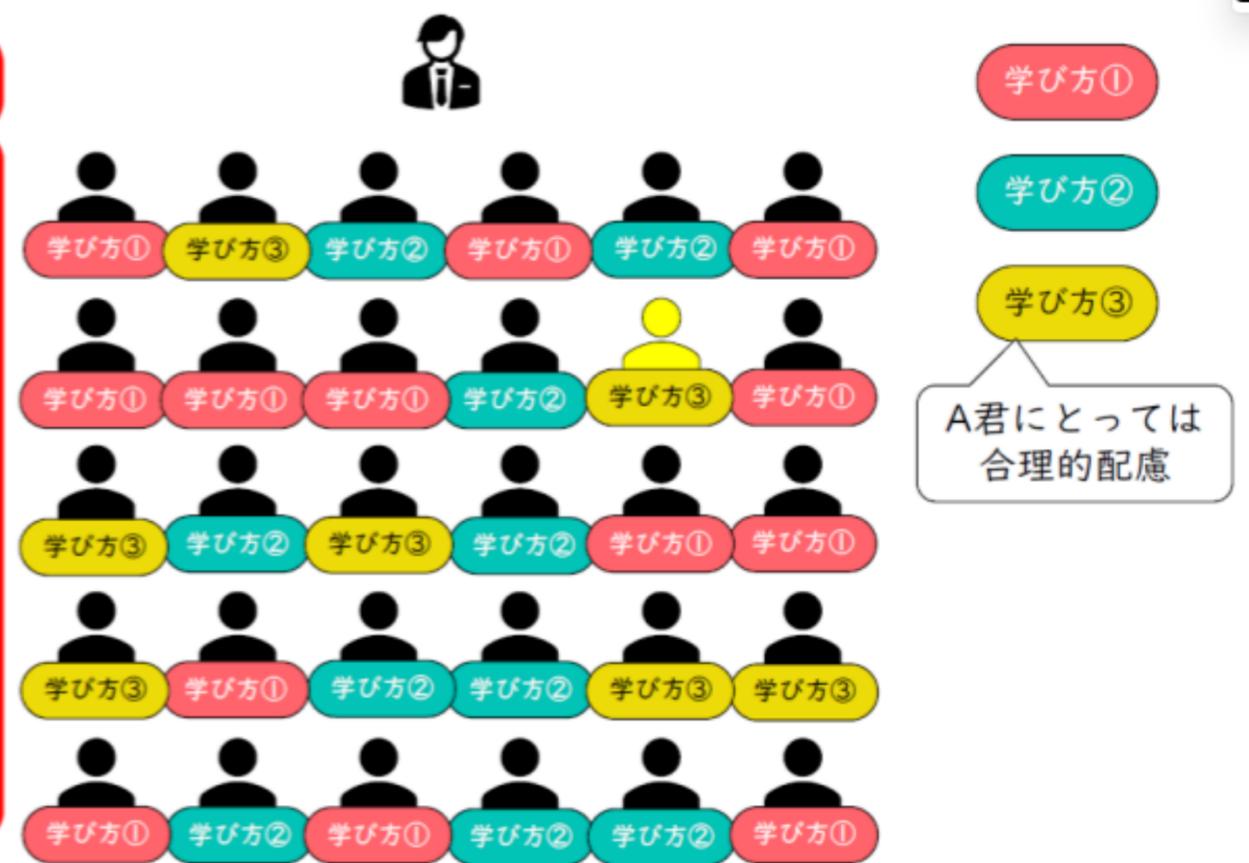
自分に合った学び方を見つける2.5プレイスの構築

**NHK for School**      **Canva**  
**:Padlet**      **YouTube JP (文科省)**  
 フロップレットプロジェクト  
 DropTap   DropNews   DropQR   デザイン   予約受付連携   NPO法人





**基本**  
 自分に合った学び方を  
 各自が選択できる環境  
 を構築すること





## 特に印象に残っているものや学びの多かったものについて

AI活用について、「この部分は自分の頭を使わないとだめなんじゃない」と使ってみて気付かせてというICTとの付き合い方に共感しました。よいものを取り入れることは大切ですが、どんなことも「バランス」だと思っています。それ教にならないようにバランスよくかわることができるように子どもたちにもICTと付き合いわせていきたいと考えています。

子どもたちが考えながら学んでいるということや「私が学ぶ」ということが印象に残りました。

生成AIの活用について勉強になりました。私自身の経験から、職員会議や研修などの内容や進行方法などについて、頭を悩ませ時間をかけてしまうことが多い場面がよくあります。AIに情報を与え、一つの例を求めることは非常に効率的になるなど感じました。業務改善に役立てたいです。また、授業や特別活動でも教師が積極的に選択肢を増やし、自分に合った方法を選択できる環境を整えていきたいです。ご講話いただきありがとうございました。

豊成小学校と中仙中学校の実践紹介がとても参考になりました。チャットとペーパーの煩雑さに苦慮していましたので、経費削減、時間短縮の数字的データはとても説得力がありました。後日詳しく教えていただきたいので、直接連絡させていただきたいと思っております。また、学校現場でのAI活用についても勉強になりました。早速、職員にも視聴を勧めました。

年間スケジュールなどをクラウドで共有し、作業の効率化をしていること。生成AIの活用方法。

研究校のICTを使った業務改善の進め方がとても、先進的で参考になりました。本校でも推進していきたいと思いました。

各校で工夫された実践内容  
内容

講演会から伝わる熱い思いと実践内容

豊成小学校の6年生が実践している普段使いのICT、中仙中学校が実践している校務のICT、講師の鈴木先生から教えていただいた生成AIの活用方法（特に複数の児童からの意見をAIにまとめさせる使い方、自作の指導案をAIに添削させる使い方）

豊成小学校や中仙中学校の実践例の紹介

豊成小で様々なアプリを使いこなしているのを見て、使ってみたいと思った。振り返りのエクセルのファイルはすぐにでも使えると思った。

中仙中学校の校務のICT化と鈴木先生のインクルーシブ教育、生成AIについての講話

様々なアプリの活用の仕方や実践について学べたこと。AIを活用すること。

指定校両校の実践発表が素晴らしく、しかも、できるかも、やってみよう、という気持ちを強くもつことができた。講師の先生方からは、それを効果的に進める上で大事にすることを現場目線でご教授頂くことができた。大変、実りある研修となった。ありがとうございました。

鈴木先生AIについての講話の「指導案を放り込む」「スピード感」に衝撃を受けました。また、今年度研修の中でも単元構成の重要性を学びました。こどもの学びを成立させるための教師の構成力には磨きをかけていかなくてはと思います。

これからは生成AIが教育の中に入ってくるのだろうなという実感がわいてきました。また、改めて事項で行っているLDX事業は、ここで終わるのではなく、もっと進んでいかなければいけないと感じました。（挑戦する気持ちを忘れないで取り組んでいきたいと思っています。）

## 本講演会 & 研修会を受けて、ご自身の職場でやってみたいこと



様々なアプリを使って授業を行ってみたいです。やってみた先生方が投稿してくれるので、中仙地域で共有しながら興味あることを行えることは取り組みやすいのでとてもいい環境にありありがたく思います。

自分があまりにもできないと改めて思いましたが、自分自身が楽しいと覚えることが大事だと学んだので、少しずつできそうなことにチャレンジしてみたいです。

行事の内容の改善など

特に公務支援システムが導入されますので、その前にその良さを感じるような活用（年間行事予定や欠席連絡）をしてみたいと思いました。家庭への通信等にも利用していきたいと思っています。

感染症での出席停止者の情報共有のデジタル化。

ICTを活用した業務改善。学校配布物のペーパーレス化や保護者の欠席届等

生徒に学ばせる姿勢

校務のICT化と生成AIの活用

朝の出席連絡の電子化

パワーポイントを使った共同編集。個人的にパワーポイントを使いこなせていないので、がんばってみたい。

AIを使った授業をしてみたい、パワーオートメーションを使用してみたい。

職員室での情報共有、授業でAIを使ってみること。

業務改善への効果的なICT活用

校務においては大きな変化があり、楽になったことも多くあります。一方、授業改善においてはどうか。そこが肝だと思うので、さらに研修を進めたい。（まだ漠然としていますが。）

今まで行ってきたことをもとに、授業にどのように生かせばいいのかが、効果的な活用の仕方をもう少し考えて行わなければいけないと思いました。それが、子どもたちの学力向上に果たして役立っているのかの検証も必要かなと思います。

## ご自身の職場におけるICT活用の課題・要望など

やりっぱなしにならない、与えっぱなしにならないことが課題と考えています。子どもたちは制限がかかっているものでもそれをくぐり抜ける方法を見付けることができると身をもって感じています。だからこそ子どもたちと一緒に使う、関わるのが大切だと感じました。

本校では、ICT活用は進んでいる方だと思います。保護者とのやりとりや、月予定の決定、生徒の表彰のとりまとめなどは、さらにICT化を進めていけるといいなと思います。また、授業に関しては電子黒板を増やしてもらいたいです。

年齢層とはいいませんが、やはり、「やってみよう」という声よりも「んー」と戸惑う声が聞こえてきます。若い先生を中心にまずはチャレンジする雰囲気づくりが大切だと思います。私は苦手、私は無理・・・の考え方をどうすれば柔軟にできるのでしょうか。今後も先進的な取り組みをしていただき、ぜひ、心広く情報提供していただければと思います。

学校に勤務し始めてから1ヶ月なので、課題・要望などまでにはたどり着きませんが・・・、研修内容で取り入れられたらいいなと思うことがたくさんあったので、周りの先生方にお聞きしながら、ICT活用ができるように頑張ろうと思いました。

今、配布されているICT機器やソフト等では、どうしても活用を進めきれないことを感じます。研究校のPadletやCanvaの活用がとても参考になりました。

業務のICT化がすなわち業務改善（業務の効率化）に必ずしも結びつかない場面もあるのではないかと感じる場合があります。逆に、全職員が協力してICT化を推進していくべき場面（新しいことを定型化することに抵抗を感じてしまいなかなか取り組めずにいる場面等）も多く残されているようにも感じます。時にはボトムアップ、時にはトップダウンのICT化が推進の課題ではないかと考えます。

Metamojiは同じ学校の先生の実践はいつでも見ることができるが、他の学校の実践が共有化がきれないので、個人レベルでもいつでも見られるといい。

校内でネットにつながらない場所があること。校務等で活用がなかなか進まないこと。

業務改善への効果的なICT活用

ICT、立ち止まっていたはいられません。気軽に「教えて」が言える環境だったこの1年に感謝。今後もそんな環境づくりをしていけたらと思っています。

ICT担当にはばかり頼るのではなく、自分でも効果的に活用できることを増やしていかなければいけないかなと思います。

LDXS講演会 & 研修会アンケートから

今後は、本地区で行った取組を大仙市や秋田県内に横展開していく。引き続き、ICTによる業務改善に取り組み、生徒も教員もより創造的に学校生活を過ごせるようにしていきたいと思います。何かご不明な点がありましたら、中仙中学校へご連絡ください。



創立 60 周年 令和 5 年度 生徒会テーマ



新時代



心豊かに たくましく 明るくさわやかで 活気に満ちた中仙中学校



大仙市立中仙中学校

〒014-0207

秋田県大仙市長野字新山5の1

TEL : 0187-56-2328

E-mail : [ns-nakasentyu@edu.city.daisen.akita.jp](mailto:ns-nakasentyu@edu.city.daisen.akita.jp)

Friday 12.Jan.2024

# 豊成小の取り組み

中仙地域リーディングDX研修会



大仙市立豊成小学校 ICT担当 後藤 宏佑

## 1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化

クラウドの活用



複線型の授業を目指して



振り返りのさらなる充実

## 2 オンラインを活用した授業等

外国語 【他校の6年生と自己紹介】

不登校傾向児童のオンライン参加

中学校区オンラインミーティング

## 3 持ち帰りによる家庭学習の充実

学びの選択肢

AIドリルQubenaの活用

タイピングスキルの上達

学び直し

家庭学習の履歴